

◎平成26年度提言事業

事業名	検証結果	方針
あかがね算数・数学コンテスト開催費	小・中学生が数学的な考え方を駆使して難問に挑戦する機会を提供することにより、算数・数学への興味・関心、学習に意欲的取り組む意欲の向上が図られている。市民を含めた幅広い周知が必要である。	◎
新聞制作体験学習事業	中学生が、地域の歴史や特徴を生かした新聞記事づくりのため、取材から情報発信まで取り組むことで、新聞に親しみ、地域との関わりやコミュニケーション能力の向上が図られている。	◎
英語キャンプ開催費	中学生が、大学生やALT、英語教員等とともに合宿生活を送りながら、集中的に英語を使用することで、生徒のモチベーションやコミュニケーション能力の向上が図られている。	○
学校図書館支援事業(拡充)	学校図書館支援センターの設置により、各学校において児童生徒の教育に必要な機能の充実が図られており、学校からのニーズも高いことから更なる充実が必要である。	◎
小学校ICT環境整備事業	ICT機器の活用により、児童生徒に視覚的に訴え、わかりやすい授業が展開されている。機器の導入などより効率的な環境整備を進めていく必要がある。	◎
あいさつ運動推進事業	PTAと連携することにより、学校だけでなく市全体に広くあいさつの重要性、必要性の周知が図られている。必要な支援を行い、さらに効果的な取組を推進する必要がある。	◎
子育てサービス利用者支援事業	関係機関の連携により子育てに必要な情報提供やサービスへの接続が行われ、子育て中の保護者の孤立や不安感の解消、利便性の向上等が図られている。	◎
放課後子ども教室推進事業	地域住民の参画により、放課後の子どもたちに身近な遊びの場や学びの場を提供し、様々な体験活動や交流活動に参加することで、子どもたちの健全な育成の推進が図られている。	◎
新しい公民館創造プロジェクト事業	地域住民が主体性をもって、地域の特色を活かした事業や地域の課題解決に向けた事業等に取り組むことにより、地域社会における課題解決に向けた意識の醸成が図られている。	◎
学校支援地域本部事業	学校と地域が連携して、地域住民による登下校の見守りや読み聞かせ等の取組を実施し、児童生徒の学びを支援することで、地域ぐるみで子どもたちを支える体制の整備が図られている。	◎
放課後まなび塾(拡充)	放課後に、教員OB等が学習支援員となり、宿題や予習など児童が自主的に行う学習をサポートする学習機会を提供することで、児童の学習習慣の定着が図られている。	◎
防犯活動推進事業補助金	新居浜地区防犯協会が設置する防犯カメラを、新居浜市の所有する公共施設に設置することにより、地域の犯罪抑止につながり、防犯意識の向上が図られている。	◎
放課後児童クラブ運営事業	平成27年度は、市内24か所の放課後児童クラブを運営し、昼間、就労等で保護者が家庭にいない児童を対象に、適切な遊びや生活の場を提供することで、児童の健全な育成が図られている。	◎

方針:◎…継続 ○…改善して継続 △…縮小 ×…廃止